

たつのまち 議会 だより

No.94



Center of Japan

36° 00' 00" N 138° 00' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

特集

辰野町議会主催

若者タウンミーティング開催

6月定例会報告
委員会レポート
一般質問
町民の声

4
6
8
16



辰野町議会
ホームページ



辰野町議会
Facebook



横川溪谷 昭源峡 (いいまちたつの知らせ隊)

特集

辰野町議会
主催

若者タウンミーティング

メイン
テーマ

住みたいまちってなんだろう

4月20日（土）荒神山公園芝生広場にて、10代から40代の方を対象に、6グループに分かれて町について感じていることや願いを語っていただきました。初めての開催でしたが町民の方33名と全議員が参加し、大変盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができました。

【4月20日（土） 当日のタイムスケジュール】

お茶と軽食、お子様の託児スペースを準備させていただきました。

13:30 開会・議長挨拶

13:40 ワークショップ進行の説明

13:50 「辰野町について感じていること」

14:20 「私にできること・町に期待すること」



15:00 各グループのまとめ発表



15:30 閉会



【若者タウンミーティングで出た意見】

●町の良いところ●

- ・自然豊かで空気や水がおいしい
- ・温泉が日常的
- ・都内からのアクセスが良く、伊那・諏訪・松本に行きやすい
- ・元気なジイジ、バーバがいる
- ・田舎だけど不便過ぎない
- ・役場職員や議員との距離が近い
- ・給食が子どもにやさしい
- ・家や土地が安い
- ・町民会館のお手洗いに生理用品が置いてあり勇気をもらえた
- ・人が優しい
- ・子ども向けの楽しみやイベントがたくさんある
- ・食料品が買える店がそろっている



●町の足りないところ●

- ・フラッと立ち寄れる店がもう少しほしい
- ・区などの役員負担が大きい
- ・学生や若い人の居場所がない
- ・高齢者に寄り添う福祉関係が弱い
- ・外国籍の人への対応が不十分
- ・町に特色がない。町が何に力を入れてたいのか解らない
- ・空き地が増えている



●町に期待すること●

- ・町全体で子育てをする町に
- ・災害に強い町づくりを
- ・官民連携して町づくりを
- ・子どもの検診時間を午前中に
- ・子どもスポーツ団体支援のための補助金を
- ・若者が集まる場所や遊べる場所を
- ・子どもが自由に動けるよう移動手段の拡充を
- ・薪ストーブ購入補助を
- ・町内温泉の町民割引実施を
- ・商店街に駐車場がほしい
- ・荒神山公園にバーベキューできる場所を
- ・町のホームページを見やすく
- ・子育て情報が欲しい（まとめサイトなど）
- ・里山で暮らす智恵や技術の継承を
- ・子どもの個性や速度に合わせた学びができる環境を



若い世代ならではの気付きや思いがたくさん出され、また引き続き議員と話せる機会を設けてほしいとの声も多くありました。6月定例会の一般質問でいくつか取り上げました。今後も皆さまのご意見を参考に議員活動を進めてまいります。



当日の様子を動画で
ご覧いただけます

参加者の
感想は
15Pに

6月定例会で全議案



第3回(6月)定例会 5月29日(水)～6月13日(木) 24議案、5請願・陳情、3発議、5報告

令和5年度一般会計・特別会計

- 一般会計補正予算(第13号)
 - ▷事業費の確定などによる予算額の増減措置
補正額 3億6,873万2千円減額
- 特別会計補正予算
 - ・上水道事業会計補正予算(第3号)
 - ・国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - ・国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)
 - ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
 - ・辰野病院事業会計補正予算(第2号)
 - ・地域情報告知システム特別会計補正予算(第2号)
 - ・介護保険特別会計補正予算(第5号)

令和6年度一般会計

- 一般会計補正予算(第1号)
 - ▷令和6年能登半島地震に伴う被災地支援
補正額 169万円増額
- 一般会計補正予算(第2号)
 - ▷役場庁舎改修工事(3階部分軒裏・雨漏り)
補正額 341万円増額
- 一般会計補正予算(第3号)
 - ▷町営バス、教育振興・備品購入、防火水槽撤去
補正額 1,352万6千円増額
- 一般会計補正予算(第4号)
 - ▷定額減税補足給付金、低所得者世帯支援給付金
補正額 1億4,747万円増額

条例審査・その他

- 条例審査議案
 - ・税条例の一部を改正する条例について
 - ・都市計画税条例の一部を改正する条例について
 - ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
 - ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
 - ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
 - ・保育園条例の一部を改正する条例について
 - ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- その他議案
 - ・令和5年度(繰越)辰野西小学校体育館長寿命化改修工事(建築)請負契約について
 - ・令和5年度(繰越)辰野西小学校体育館長寿命化改修工事(機械設備)請負契約について
 - ・令和6年度役場庁舎エレベーター設置工事(建築)請負契約について
 - ・令和6年度辰野町病児病後児保育施設建設工事(建築)請負契約について
 - ・辰野町固定資産評価審査委員会委員の選任について

※提案された議案は、可決・承認・同意しました。



辰野病院敷地内に建設予定の病児病後児保育施設

受理番号	陳情審査	本会議
陳情 第8号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書 ・提出者：長野県社会保障推進協議会 代表委員：宮沢 裕夫、佐野 達夫、細尾 俊彦、小林 吟子、松丸 道男、北沢 忠	継続審査 賛成 13 反対 0
陳情 第10号	餌やり猫及び生活困窮者の猫の避妊去勢手術助成制度の創設を求める陳情 ・提出者：ハッピーテール 代表 東野 律子	趣旨採択 賛成 13 反対 0

受理番号	請願審査	本会議	意見書
請願 第6号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書 ・提出者：辰野町公立学校教職員組合 執行委員長 村澤 陽介 ・紹介議員：高木 智香	採択 賛成 11 反対 2	提出 あり
	【採択に反対（栗林）】時代・環境が変化しており、へき地学校指定基準の見直しが必要。へき地への居住の有無にかかわらず支給されている現在の支給要件が不適当なため。 【採択に賛成（高木）】へき地勤務教員の経済的負担は物価高騰下で増している。待遇差から県外へ人材が流出している。教員不足防止の意味でもへき地手当の引き上げは必要。		
	（請願賛成）古村、松澤、吉澤、牛丸、小澤、向山、樋口、高木、林、小林、津谷 （請願反対）栗林、本田		
請願 第7号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書 ・提出者：辰野町公立学校教職員組合 執行委員長 村澤 陽介 ・紹介議員：高木 智香	採択 賛成 13 反対 0	提出 あり
請願 第9号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める請願 ・提出者：上伊那地区労働組合会議 議長 湯澤 航 ・紹介議員：向山 光	採択 賛成 9 反対 4	提出 あり
	【採択に反対（小澤）】女性が差別なく社会で活躍できるためのさまざまな法律は、既に整備済み。個人通報制度による国連介入で、日本の立法権・司法権の実施を阻害する恐れがある。 【採択に賛成（向山）】女性支援法制定の様に差別の現存は明らか。国際機関と共に人権を取り巻く課題に向き合う姿勢を示すべき。勧告に強制力・拘束力はなく国の主権への介入ではない。		
	（請願賛成）古村、吉澤、牛丸、向山、樋口、高木、本田、小林、津谷 （請願反対）松澤、栗林、小澤、林		

議案番号	議員提出議案	審議
発議 第1号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について 〔提出先〕衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（男女共同参画） （発議賛成）古村、吉澤、牛丸、向山、樋口、高木、本田、小林、津谷 （発議反対）松澤、栗林、小澤、林	可決
発議 第2号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書の提出について 〔提出先〕長野県知事、長野県議会議長 （発議賛成）古村、松澤、吉澤、牛丸、小澤、向山、樋口、高木、林、小林、津谷 （発議反対）栗林、本田	可決
発議 第3号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について 〔提出先〕衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣 全会一致	可決

■報告事項

- 令和5年度辰野町土地開発公社事業決算書及び令和6年度辰野町土地開発公社事業計画書の提出
- 令和5年度辰野町一般会計繰越明許費繰越計算書
- 令和5年度辰野町上水道事業会計予算繰越計算書
- 令和5年度辰野町下水道事業会計予算繰越計算書
- 町が損害賠償の責を負うものの専決処分報告

委員会レポート

～付託議案は全て可決～ 条例等審査

総務産業常任委員会審査報告 6月7日に審査、10日に調査研究の現地視察を行いました。

請 願 審 査

■請願第9号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める請願

◇趣旨 女性差別撤廃条約は1979年に国連で採択され、日本は1985年に批准した。1999年には条約の実効性を強化し女性が抱える問題を解決するため、選択議定書が国連総会にて決議・採択された。選択議定書には個人通報制度と調査制度が含まれており、締約国は被害者救済のための具体的な措置を取ることが求められる。日本はまだ選択議定書を批准していない。このことから、辰野町議会において、女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める国宛の意見書の提出を求めるもの。



○陳情に賛成の意見

- ・選択議定書の批准は、女性の人権保障と差別撤廃の取り組みを強化し、ジェンダー平等社会の形成を推進することにつながる。
- ・日本は条約締約国として、国際的な人権基準を国内で進めることが求められている。
- ・地方自治体からの意見書提出は、国の対応を加速させる効果が期待できる。

●陳情に反対の意見

- ・選択議定書の個人通報制度は、日本の司法権の独立を侵害する可能性がある。
- ・日本の伝統的な価値観と国際基準との相違が危惧される。
- ・男女の生物学的な違いを無視した画一的な平等観は適切ではない。

＜採決の結果＞賛成と反対が3対3の同数となり、辰野町議会委員会条例第16条に基づき、委員長裁定により、この陳情を採択すべきと決し、意見書を提出することに決しました。

タウンミーティングで出された調査研究現地視察



宮所区 不法投棄現場



唐木沢区 水路頭首工付近

福祉教育常任委員会審査報告 6月7日、10日に担当課職員の出席の下で審査を行いました。

条 例 等 審 査

- 辰野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 辰野町保育園条例の一部を改正する条例について
- 辰野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

◇趣旨 内閣府令の施行に伴い条例改正をするもの。

※採決の結果 条例3件は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

請願・陳情審査

■請願第6号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書

◇趣旨 へき地手当は国から県に交付されており近隣県では、文部科学省令で定める率に準拠して支給。長野県では2006年度から支給率を国の定める基準の8分の1にした。

○請願に賛成の意見

- ・教員のなり手不足である現状を鑑みて賛成である。
- ・上伊那地域にも迫ってくる課題で、教員の確保は共に考えていく課題である。

●請願に反対の意見

- ・物価上昇で生活が厳しいのはへき地だけではない。

<採決の結果> 賛成5、反対1で採択と決し、意見書を提出することに決しました。

■請願第7号 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担度の堅持・拡充」を求める請願書

○請願に賛成の意見

- ・子どもの力を引き出すために更なる少人数学級は必要である。
- ・係数の改善の説明を受けて、少人数学級と教員を増やすためには係数を上げて国から予算を獲得する必要性が理解できたので、教員増のために予算確保が必要である。
- ・更なる少人数学級実現には国から予算を増やす必要がある。

<採決の結果> 全員一致で採択と決し、意見書を提出することに決しました。

■陳情第8号 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書

◇趣旨 訪問介護費は、現在、在宅での介護を支える上で欠かすことのできないサービスで、その基本報酬が引き下げられたことは、小規模事業者は経営難に陥る可能性もあり、在宅介護の基礎が崩壊になる恐れもある。

○陳情に賛成の意見

- ・現場の厳しい声を聞いているので賛成である。

●陳情に反対の意見

- ・趣旨は理解できるが、今の段階で説明不足である。

□その他意見

- ・今年4月から改定されたもので、訪問介護費引き下げと介護職員の処遇改善加算がどのような関係性になるのか状況を見て判断したい。
- ・訪問介護現場の厳しい状況は理解しているが、なぜ訪問介護費が引き下げられたのか背景と今年の状況を見て判断したい。

・趣旨は分かるが、実態が今回の資料では見えてこないの、調査をしてから対応したい。

・訪問介護現場は人材不足であるのに介護報酬引き下げがなぜ行なわれたのか理解できるところまではいかない。趣旨は理解できる。

※追加調査が必要と判断し全員一致で継続審査と決しました。



■陳情第10号 餌やり猫及び生活困窮者の猫の避妊去勢手術助成制度の創設を求める陳情

◇趣旨 動物愛護、環境美化、人の福祉の観点から、餌やり猫および生活困窮者の猫の避妊去勢手術制度の創設を要望する。

○陳情に賛成の意見

- ・地域には猫を保護している人がいて、去勢も実施している実態があり、その資金がなくなると地域のバランスが崩れる。去勢資金について助成したい。
- ・地域猫がいる実態があるので、去勢は必要なことで、制度創設に助成をしたい。

□趣旨採択の意見

- ・趣旨は理解するが、県レベルでやっていくべき。
- ・去勢によってどれだけの効果があるかは見えてこないが、地域猫が増えている実態があると思う。
- ・この対策だけでは不十分だと思うため、今回は趣旨採択としたい。

※以上のような意見が出され、更に趣旨採択の提案があり、賛同者もあったために趣旨採択にすべきかの採決をした結果、全員一致で趣旨採択にすべきと決しました。



牛丸 圭也
議員



小野区太陽光発電施設について 現地の状況は

町長
一部施設を除き
撤去が行われた状態

問 町長声明から今に至る経緯は。

課長 現在も相手方弁護士との交渉が継続中のため、撤去に至った背景、理由、状況等の詳細な回答は差し控えるが、撤去は町の主張が認められた結果であると考えている。

問 太陽光発電施設敷地内のゴミ投棄への対応は。

課長 独断で手が出せない状況。問題が解決した後建築廃材が残されていれば町で処分する。

登録有形文化財について町の意識は

問 登録有形文化財の管理体制は。

課長 申請には所有者の承諾が必要。登録有形文化財を含む指定文化財は原則的には所有者管理。保存活用計画を立てれば、必要な修繕に対し事業費の約 50 パーセントが補助される。

問 町の観光資産としての運用は。

課長 観光客に辰野町の魅力を実感してもらえるツールとして、所有者や地元住民の協力を得ながら、有効な活用方法を考えていきたい。

問 登録有形文化財の積極的活用は。

課長 小野区に複数ある物件を連携させ効果的に活用したい。活用で見えてくる方向性を探りたい。

問 登録した文化財に対して今後の構想はあるか。

課長 重要伝統的建造物群保存地区へ選定された後は町の活性化の一翼をを担える観光地としたい。

日赤奉仕団の現状と町の考えは

問 現在の加入状況はどうか。

課長 令和 6 年度は 254 名、うち男性は 6 名。

問 団員選出困難地区について町としての考えは。

課長 現在の 8 分団体制を再検討する時期。

消防団の機能別団員について現況は

問 機能別団員として入団する方法は。

課長 希望者は地元分団長や総務課危機管理係へ問い合わせをし、手続きを経れば入団できる。

問 機能別団員は可搬ポンプを使用できるか。

課長 機能別団員も消防団員の一員。訓練すれば操作は可能。経験者が活躍できる場面は多い。



消防団と保安部の合同訓練

津谷 彰
議員



子育て世代のニーズをどのように に捉えているか

町長
最優先は子どもの
安全と健康と考える

辰野町DX推進戦略の進捗は

町長 住民税務課の窓口で、マイナンバーカードを用いて申請書を書かずに証明書を取得できるサービスを開始した。また、オンラインシステムを導入し、子育て支援にかかる保育園、学童の出席管理や保護者との連絡、お知らせ等を開始した。

問 令和 6 年度の取り組みは。

課長 住民と行政との接点となるフロントヤードの改革を進める。具体的に、各種証明書のオンライン申請・決済をして、発行する証明書は自宅に郵送で届ける仕組みを構築する。総合窓口において、証明書発行手数料等の収納に複数の決済方法に対応できるキャッシュレス決済の拡充を進め、住民の利便性の向上を図る。

乳幼児健診の実施時間の変更を

問 子育て世代にアンケート調査をした結果、健診時間を午前にとの要望が大半を占めた。乳幼児健診の現状と午前に移行する場合の弊害は。

課長 生まれた月齢によって健診の日程が組まれているため、出生数により健診を受ける人数が変動する。出生数が減少傾向のなか、適正なスタッフの数で効率よく実施できる方法の見直しが必要。要望の多い午前中の検診の実施は、歯科医師や、乳幼児に特有の相談等に対応が可能な医師の確保が難しいことが弊害。



子育て世代へのアンケート

町長 各医療機関の外来診療に影響が出てはいけないため、現在の状況から時間の変更は難しい。

辰野版ラーケーション制度の導入を

教育長 平日でも家族旅行で休まれる事例がぽつぽつと出始めている。校長先生も様々な意見を持っているので校長会にて、実際に保護者からの声が上がっているのか聞く。導入するならば、3 日間や 5 日間に限定するのではなく、より実施しやすく、あまり負担のかからない辰野版ラーケーション制度を考えていきたい。

その他

- 自治組織に課せられる募金について

町営バス川島線の 運行経路における 道路改良工事を

町長

危険箇所については
現場確認を行なう



小澤 睦美 議員



町長への意見箱、 インターネット上 でも設置可能に

町長

まずはホームページや
広報で意見箱を PR する



本田 光陽 議員



問 町営バス川島線に「共創モデル実証事業」の導入予定はあるのか、また今後の運行形態は。

課長 令和6年度は現行の運行方式を維持する。今後は、運行方式の見直しなのか、利用促進策による継続の維持なのか、それぞれ研究していきたい。

かやぶきの館及び周辺施設の今後のあり方は

問 令和7年度からの指定管理者選定にあたり、どのような仕様とするのか。

課長 施設の機能・提供サービス、地域や町民、行政の関わり方等を見直し、それを仕様書に盛り込み公募を前提とした指定管理者募集の準備を進める。また、長期的な活用方法・あり方については、地元川島区や関係する町民、農業関係団体等と意見交換を行い検討していく。

問 誘客を図るためにも、現在沸かし湯である入浴施設を温泉施設にするための掘削調査の考えは。

課長 施設の老朽化が進むため、施設改修の方が優先度は高い。施設維持を前提に考えた場合、当面温泉開発はできないと考えている。



かやぶきの館

スマートインターチェンジ設置の考えは

問 観光支援、企業集積の促進・雇用の創出、災害時における代替え道路としての活用、また周辺の一般道、特に県道19号伊那辰野停車場線や伊北インター周辺の道路渋滞緩和に大きな効果が期待できるスマートインターチェンジ設置の考えはないか。

課長 幹線道路の整備や生活道路の補修に優先的に取組む方針のため、スマートインターチェンジの設置については、今のところ考えていない。

川島小学校閉校後の利活用は

問 閉校となる川島小学校のその後の利活用について、町の検討委員会の取り組み状況は。

課長 農村RMOとの兼ね合いから、検討委員会の進め方は地元にお任せし、町はお手伝いをする。

町長への意見箱の設置について

問 現在の設置方法と目的は。

町長 よりよいまちづくりのため気軽に意見をしてもらえるよう町民ホールに設置。意見にはすべて目を通し、必要に応じて担当課に対応を指示している。

問 町の公共施設にも設置できないか。

課長 情報漏洩の恐れがあるため増設は考えていないが、まずはホームページや広報で現在の意見箱の存在をPRする。

問 過去数年の意見への対応例は。

課長 デマンドタクシーの予約通話時間が長いというご意見から、予約システムを更新した。また、役場ロータリーにある蜂の巣の撤去もご意見を受けてその日のうちに対応した。極力迅速に対応したい。

問 インターネット上での設置や、意見や対応の公表は。

課長 ご意見や対応例の公表を行っている他市町村の取り組みを引き続き研究する。現在も、ホームページのお問い合わせコーナーからメールで意見可能で、希望があれば担当課から返信をしている。



町長への意見箱

多文化共生について

問 海外にルーツがある方への対応について。

課長 20カ国から452名の海外にルーツを持つ方が町内に在住で、コロナ以降も増加傾向にあり、今後も増えていくと予想される。令和4年から多文化共生をミッションにした地域おこし協力隊が着任し、取り組みの一つとして日本語教室兼学習指導塾「カラフル」で子ども向けに学習を支援するなどの取り組みを推進している。役場でも外国籍の方向けに無料相談会を設け、通訳や仕事など生活に関する相談を受け関係課に案内している。

問 交流の機会や情報発信の取り組みは

課長 地域おこし協力隊員の自主企画の「外国籍持ち寄りごはん会」では色々な国の文化を学び、相互理解に取り組んでいる。情報発信では、広報や回覧を読むことが難しい場合もあるため、やさしい日本語（簡単な日本語）での情報発信や対応を進めている。

小林
テル子
議員



松くい虫対策を強化する時期と捉えるが

町長

令和5年、6年は松枯れが多数発生し対策が必要との認識

問 松枯れ認定過去最高7本だったが、令和5年度26本、6年度すでに17本の松枯れが確認されているが。

課長 通年巡視の強化と被害木の伐採の範囲について、所有者の了解の下伐採の範囲を周辺まで拡大し被害を広げない対策が必要。

問 くん蒸後の枯損木の取り扱いについては。

課長 くん蒸後2週間で薬剤は抜けていき、安全とされているが、くん蒸後は森林で枯損木を自然に返すのが通常の取り扱い。

問 枯損木は昨年111本、今年はさらに増える状況の中、枯損木の薪への活用はできるのか。

課長 枯損木の薪への活用は考え難い。樹種転換等で伐採する木材については可能。

要望 すでに新町農免道路周辺は面的に広がって枯損木が大量発生、松枯れ拡大防止のための大胆な樹種転換が必要。速やかな対策を。



西が丘の松枯れ

老人福祉センターのぬくもりの里への移転実施は

問 昨年9月議会で「移転を計画実施する」との答弁であったが、進捗状況は。

課長 まず利用者の意向調査を今年度実施予定。

要望 エアコンのない施設環境の改善のため始まった移転計画、来年度予算を捻出し令和7年度速やかに工事を。

地域包括支援センターの必要性和認知度は

問 4月から高齢者相談支援センターと名称を変更したねらいは。

課長 町民アンケートで地域包括支援センターが何をするとところか分からないの回答が多数あった。

問 新名称「高齢者相談支援センター」を知ってもらうための計画が必要ではないか。

課長 高齢者の集まるふれ愛サロンや健康教室で周知を図りたい。

その他

- 区の役員の在り方について

林
まさみ
議員



町民の理解と協力を得る事業の発信方法は

町長

町民に広く広報等で周知している

問 地域おこし協力隊が町民に理解を得られるよう具体的な取り組みを。

課長 町ホームページ、広報などで情報発信しているが、積極的に住民の中に入っていく必要がある。

問 町民への情報提供の在り方は。

課長 町公式LINEには2,000人以上が登録しており、約15%が高齢者。今後も登録者を増やす取り組みを進めたい。

要望 辰野町第6次総合計画の重点テーマは、「地域包括ケアシステムの構築と拡充」「ど真ん中プロジェクト」「町民と行政が一体となった道路の改良」としているが、町民の事業に対する理解と協力を得られるよう解りやすい発信体制を要望する。

町道等生活道路改修の取り組みは

問 17区からの町道改修の要望状況は。

課長 例年各区で2～3件の改修要望がある。緊急性と要望年次を考慮し、改修している。

問 町道改修予定等、年次別計画の提示や危険地区道路の町としての把握状況は。

課長 町としての計画の提示は難しい。各区内で調整をお願いしたい。通学路はPTA連合からの要望書で把握している。



改修中の町道

農地の地域計画策定状況と今後の進め方は

課長 地域計画策定のための住民意向調査を行っている。今後は、意向調査に基づき農地の所有者と利用者を1筆ごとに地図へ落とし込んでいく。その後、区や集落単位で懇談会を開催し、地域計画案と地図を作成する。

要望 農地の地域計画は、土地利用という観点からも地域のまちづくり計画でもある。誰もが地域づくりに参加することを切望する。

高齢者保護対策の現状と対応は

問 高齢者1人暮らしの状況とその対応は。

課長 民生児童委員が1人暮らしの状況を把握し、定期的に訪問対応している。

問 空き家や遊休施設を活用し、高齢者が集える場を。

課長 各地区の公民館の活用が原則。現時点では考えていない。

満蒙開拓平和記念館の
自治体パートナー
になる考えは

町長

住民の関心を踏まえ
前向きに検討したい



高木
智香
議員



問 小中学生が満蒙開拓について学ぶ機会を設ける考えは。

教育長 中学3年の時に、戦争体験を聞く会があり、その中で取り上げている。小学校は実施状況を確認して、検討していきたい。



満蒙開拓平和記念館

広島に子ども使節団の派遣をしては

教育長 広島に行くことは有意義だが、遠くて大変だという自治体もあり、派遣する考えはない。

問 今年の8月6日、教育長自身が広島に赴く考えと、実施自治体の報告会に参加する考えは。

教育長 8月の前半は既に予定があり難しいが、報告会への参加は都合がつけば検討したい。

学童クラブの課題と保育料日割り計算の導入をしては

問 学童クラブの課題は。

課長 西小と東小は定員超過による活動スペースの確保。南小は施設の老朽化。両小野小は高学年教室の隣りが保育場所のため、早めに来た低学年の活動が制限される。また、支援員にとっては、様々な児童への対応や勤務条件などの待遇にストレスを感じているのではないかと考える。

問 支援員を増員する考えは。

課長 不足感はある。状況を把握して対応する。

問 学童保育料の日割り計算を導入する考えは。

課長 1年を通して日々利用することを想定しており、月額制や年額制が一般的だと考えるが、上伊那郡内の料金形態をみると様々。学童クラブ全体の運営について、時代や家庭の事情の変化に応じて見直す時期が来ていると考える。

子育て支援センターでのリユース事業と施設の紹介動画を作成しては

問 おむつと衣類のリユースをしては。

課長 おむつはスペースが確保できれば可能。衣類は、状態が良いものを対象に検討していきたい。

問 施設の様子が伝わる動画の作成をしては。

課長 プライバシーに配慮しながら考えていく。

日帰り入浴施設に
町民割引を

町長

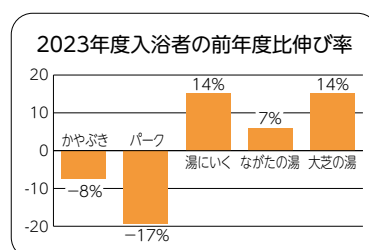
十分に検討したい



吉澤
光雄
議員



問 コロナ明けの昨年度。日帰り入浴施設利用者は、湯にいくや近隣町村では増えたが、パークホテルとかやぶきは大きく



減った。入浴料を値上げし、町民割引券を止めた事が影響したと思う。過去には町民割引券配布で、入浴者が2割増えた実績がある。パークと湯にいくは、1人150円の入湯税が町に入る。町民が利用しやすくなり、経営改善も期待できる町民割引を業者と協力して実施を。

課長 かやぶきの館の「あり方検討委員会」で、入浴に使えるクーポン券を町が出す案も出た。効果の持続性、施設間の公平確保など検討課題がある。

空き家対策は

問 町内の6戸に1戸が空き家の状況で、16年後に2倍になる見込み。利活用や処分の取組みは。

課長 成約率73%の空き家バンクや、解体・再利用への補助などを行い、補助利用は増えている。

問 強制措置含め危険な空き家への対応強化を。

課長 相談受けた危険空き家は23件で7件が解体に。積極的に対応していただける所有者は少ない。改正法制度を使い、対応を強化したい。

介護予防補助打ちりの見直しは

問 1回2,500円の介護予防活動補助に5年打ちり規定があり、来年度14団体が打ち切られる。活動に困るので、補助の継続を。

課長 活動が継続できるよう支援方法考えたい。

城前桜並木 保存・継承は

問 64年前、北朝鮮に帰国する方々が記念に植え、辰野中学生や地元住民、ボランティアの手で守り育てられて来た桜並木は、全国的にも貴重な財産。老木化や環境問題を克服し、保存・継承できるよう取組みを。

課長 桜の寿命考え、措置が必要と認識している。

その他

・ほたるイルミネーションの管理活用について

樋口 博美
議員



学校に通いづらい
こどもの数は

教育長

人数は答えません。不登校のこどもは増えてはいない。

こどもの権利は

問 たつのこ学舎の現在は。

教育長 昨年度利用した子どもたちは元のクラスに戻っている。不登校の子どもは増えていない。

問 プリントを取りに学校に行ったり、リモートで先生に挨拶すれば出席扱いになるのか。

教育長 状況は把握していないので、確認したい。

問 子どもたちの健康管理は。

教育長 検診の全項目をできているかは難しい。今後は辰野病院で健診できるように検討していく。

問 保健福祉課での対応は。

課長 様々な相談窓口を開いて対応している。

辰野町の森ビジョンは

問 森林の意向調査から見える方向性は。

課長 上下辰野区、唐木沢区で実施。六割以上が町に相談したいとの回答。山の場所がわからなかったり、手放したいなど課題が多い。今後は残りの区で実施していく。



住宅隣接部幅 20m 皆伐

問 整備の進め方は。

課長 森林経営管理制度に沿って間伐を中心に進めていく。

問 災害に強い森づくりのビジョンは。

課長 森ビジョンの中にある4つのゾーニングに沿って計画を立てていく。

要望 特に里山整備、沢筋の整備、松くい虫対策を早急に行い、災害に強い森づくりを進めることを要望する。

公共交通の整備は

問 辰野町が目指す公共交通は。

町長 目標を「住み続けたい町の公共交通を、みんなで作る、みんなで守る」と掲げ、町民ニーズに沿った公共交通を目指す。

課長 飯沼線、川島線、デマンド型乗り合いタクシーで実施。飯沼線は本年度、朝夕定時定路線運行として、昼間は予約型の乗り合いバスを検討。川島線とデマンドタクシーについては住民ニーズに則した施策を検討する。

古村 幹夫
議員



薪ストーブの設置
に対する補助金を
検討してはどうか

町長

前向きに
検討していきたい

辰野病院における災害対策、事業継続計画はどのようになっているのか

事務長 建物は耐震性があり浸水区域外にあるため使用可能。非常用電源設備や食料・飲料水の備蓄など対策を講じている。発災後は安否確認システムで職員の参集を確保し、医療提供体制を維持する。事業継続計画は令和元年度に策定済みだがコロナ禍の影響で見直しが必要。



住民の健康を支える辰野病院

パークホテルの指定管理者が変更されて1年経過したが、当初の事業者提案はどうなっているのか

課長 当初提案のベーカリー・パティスリー開設は施設の制約から見送り、カフェ営業に変更した。和食メニューの追加や宴会時間の延長など、利用者ニーズに合わせた対応をしている。企業研修や合宿の受入れも積極的に行っている。

観光まちづくりにかかる5社との包括連携協定締結後の取り組み状況は

課長 フードイベントでの町の食材PRや、ファーマーズマーケットでの特産品販売、観光動画放映など、5社それぞれの強みを生かした取り組みを実施してきた。引き続き意見交換を重ねながら、町の特産品やブランディングに繋げていく。

ゼロカーボン推進補助金について、太陽光発電設備のパワーコンディショナー交換にも補助を拡大してはどうか

課長 現行の補助金は新規設置が対象だが、他自治体ではパワーコンディショナー交換も補助対象としているところがある。財源が限られているので当面は新規を優先するが、他市町村の情報を収集しながら研究していく。

問 薪ストーブの設置にも補助金を検討してはどうか。

課長 薪は再生可能な資源でカーボンニュートラルな燃料源となり得る。ペレットストーブ補助に加え、薪ストーブの補助導入についても前向きに検討していきたい。

辰野中学校前の 信号機を遮る 樹木の剪定を

教育長

早速対応する。時季もあるため応急的に行う



松澤 千代子 議員

環境美化は

問 環境美化問題として、家庭から出る剪定木の収集ヤードを設置しては。

課長 以前も検討したが、ヤード設置場所の確保や経費、マナー、受益者が限られてしまう等の問題があり、辰野町ではできないと判断する。

問 近隣市町村のように、ゼロカーボンの一端としてリサイクルを考えることはできないか。樹木はウッドチップに、刈草は肥料にして資源活用しては。

課長 現時点では現実的ではないが、関係各課と連携し研究を進めていきたい。

問 ゴミの不法投棄について、防犯カメラの設置やネットで抑止しているが、ネットを張るのに人力では不可能な急峻な土地に重機等を使って設置した場合の費用は。



宮所区の不法投棄防止ネット

課長 設置の前に、生活環境係へ相談していただきたい。

地震災害を想定した点検は

問 ブロック塀の安全性の確認や、倒壊などの危険性のある空き家の点検を。

課長 今年度の防災訓練は地震災害を想定する。地域の危険箇所は住民の共有認識が大切。近隣の様子は地元が一番よくわかっているので、防災訓練の折などに地域ごとで確認をしてほしい。

ほたる祭りのアナウンスは

問 童謡公園内での注意喚起のアナウンスに、ほたる祭りの歴史や蛍の生態の一文をプラスして、おもてなしの心を添えては。

町長 企業訪問の折に町民の方からも言われ、考えていた。それに加えて、やさしい日本語と多言語対応も考えている。ほたる祭りのアナウンスは安全指導部が所管しているので連携していく。

周遊バスは

問 高齢者も中高生も利用できて、町の活性化につながる周遊バスの運行を。

課長 学生と高齢者とでは利用する時間も目的も違う。慎重に考えていく。

人口減少及び出生数 ・出生率を改善する 少子化対策は

町長

10の新たな子育て支援施策に取り組む



栗林 俊彦 議員

町長 若い世代を中心に、経済や将来の不安から結婚・出産をためらう人が増えている。この不安を解消し、安心して家庭を持ち子供を産み育てられる環境づくりをしていかななくてはならない。

就職活動支援・修学資金返済支援の考えは

課長 今年度から始めた奨学金返還支援補助金は、5月31日現在8名、104万1千円の申請を受け付けている。奨学金返還資金補助金の様子を見ながら必要に応じて改定をしていきたい。

住民満足度調査を定期的に行う考えは

課長 住民満足度調査は近隣市町村でも実施されているが、第6次総合計画後期基本計画のアンケートの実施時期に合わせて検討していきたい。

砂防堰堤と治山堰堤の機能・目的の違いは

課長 砂防堰堤は、砂防法に基づき土砂災害から住民の生命や財産を守るために流出土砂をせき止めることが目的。治山堰堤は、森林法に基づき森林の持つ土砂災害防止機能などを発揮するために整備し、森林自体を強化して土砂災害を防止する。



宮木楡沢砂防堰堤

公共施設再編検討委員会等設立の予定は

課長 昭和48年に建設された役場庁舎は、50年が経過している。平成22年度に耐震診断、平成26年に耐震改修工事を行い、令和6年度はエレベーターの設置工事を予定しているが、随所に老朽箇所が目立つようになってきた。令和5年度、職員による役場庁舎改修等検討プロジェクトを立ち上げ、課題の確認や今後のあり方について検討中である。

問 学校施設の集約化・共同利用していく考えは
教育長 町内の小中学校の校舎、プール、給食室等はいずれも老朽化という課題を抱えているが、必要な修繕等を行うことによって、十分対応することができている。今後の少子化を見据えた辰野町立小・中学校あり方検討委員会で一定の方向が示された際には、具体的な対応が必要である。

むかいやま
光 議員



松くい虫防除に 緩衝帯の検討を

町長
樹種転換や
防衛ラインの設置は有効

松くい虫被害の現状、対策をどう考えるか

町長 主要道路沿い標高 900m 以下で発生、特に南部に集中。松くい虫防除対策は最優先課題。

課長 県や関係機関、山林所有者、林業各団体等と意見交換したい。

意見 1カ所で 12本の被害木が確認され、翌年枯れも目立つ。今までにない状況であり、被害町村指定を含め、早急な対策・検討が必要。



松枯れ被害とくん蒸処理

板沢最終処分場計画、三たび繰返されない解決を

町長 一刻も早い解決を望み、全面解決、円満解決となるよう進めたい。

太陽光発電、事業廃止・撤去の資金確保の確認は

課長 FIT への定期報告等によって確認している。

意見 FIT によらない発電事業に対しても、資金確保の確認について確実な方法の研究を。

女性支援新法、正規の女性相談支援員の配置を

問 専門性、経験値、洞察力、共感力等を持つ常勤・正規の支援員の配置が必要ではないか。

課長 町単独での支援員配置は非常に困難であり、県との連携について県へ要望を上げていきたい。

意見 困難な問題を抱える女性をいつでも受け入れていくことの周知を。コンビニ等の協力をいただき、ポスターやカードの設置等の啓発を。

町として各種ハラスメント対策、人権啓発は

課長 セクハラ等防止要綱・指針を策定、研修会を実施してきた。意識改革に努め、個別の相談等に対応している。人権感覚を磨くことは一朝一夕にはできないが、今後も研修会などを積み重ねたい。

意見 健康で文化的な生活を営むことは国民の権利であり、憲法の理念を実現する自分たちの仕事に誇りを持って働いていただきたい。

たつのピッカリ踊りに議会が**初**参加

コロナ禍を経て 5 年振りに再開した「たつのピッカリ踊り」に辰野町議会連として参加した。議会が連を組んで参加したのは初の試み。



天気に恵まれた 6 月 15 日（土）、下辰野商店街を貫く町道 14 号線、本町通りの歩行者天国を埋め尽くす約 700 人の踊り手が開始の時間を待った。

両側には多くの露店が並び、歩道は縁日を楽しむ多くの人であふれ、賑わいを見せていた。



開始を告げるアナウンスとともに音楽が流れ、「たつのピッカリ踊り」は始まった。参加者の熱気と笑顔は 5 年のブランクがあったとは思えないほどの盛り上がり。短い時間ではあったが、踊りの一体感を味わい素晴らしい時間を共有できた。



町民と議員の タウンミーティング開催

宮所区

開催日時 5月18日(土) 18時
参加人数 区民19人 議員14人



◇主なディスカッション内容

1. 買い物時の移動困難
2. 持ち主不明の空き家対策
3. 水路頭首工の堆積物について
4. 区境へのゴミの不法投棄
5. 町道を国道の迂回路に使う車のマナーなど

唐木沢区

開催日時 5月19日(日) 午後13時30分
参加人数 区民21人 議員13人



◇主なディスカッション内容

1. 過去の災害についての学び
2. 区内の高齢化率
3. インターネットの使用困難性
4. 奉仕団員など地元役員の担い手不足
5. 水路頭首工改良の必要性
6. 町営バス川島線の利用状況 など

詳細は、町HP内の辰野町議会にて掲載いたします。
次回開催は11月を予定しています。
開催区が決定次第、新聞などで告知いたします。

辰野町議会主催 若者タウン ミーティング 参加者の声



当日の様子を動画で
ご覧いただけます



原弘樹さん

初めて参加させていただいて、まずこういったイベントに集まる人(若者)が想像より多く、辰野の未来についてそれぞれの思いがあることに感動しました。
タウンミーティングを通じて町民同士の交流や共有が出来るので話を聞くだけでも価値のある面白い企画でした。次回もあれば参加したいと思います。



大木洋さん

どんな方が議員を担当されているのか、人柄も含めて知ることができ、街で見かけた時にも親近感を持てるようになりました。
同世代が町の動きについてどう感じているかを知れたことも良かったです。
小さい子を連れていても気遣いが手厚く、野外でBGMがあったため、リラックスして参加することができました。



北埜実紗さん

このような場を持てている町にとっても希望が持てました。子連れの人にも配慮されており、会では開放的でポジティブな意見もたくさん。また出た意見を一般質問で取り上げてくれた議員さんもうらっしゃり、自分達の声が政治に届くことを実感できました。



鈴木楓さん

明るく和やかな雰囲気とても良かったです。
議員の存在を身近に感じる事ができ、町政により関心を持つきっかけになりました。
会を続けることで多世代の意見が集まり、町政に反映されることを期待しています。



奥田ひづるさん

堅苦しくない雰囲気の中で議員の方が皆居たのも良かったです。知り合いもいたので参加しやすかった。暮らしや生活の悩みについて話しあうことを通して町政が身近に感じられた。

貴重なご意見ありがとうございました。

宇治 慎一郎さん



町内で働いているので、地元のお祭りに参加できることが嬉しいです。総踊りは初めてです。コロナ禍でなかなか開催されなかったので、今日はみんなで楽しく踊りたいです。



百瀬 佳子さん

議員が町に出て聞きました

町民の声

テーマ ほたる祭りに思う

6月15日(土)に開催された「たつのぴっかり踊り」に参加した町民の皆さんにお話を聞きました。

これからみんなの声を聞きにいこう



辰野町イメージキャラクター ぴっかりちゃん

赤羽 拓真さん



総踊りには、小学校の頃に参加したことがあります、今日は久々の参加です。総踊りの復活が嬉しいです。辰野町と言えば「ほたる祭り」。名物のお祭りがあるのは、町民としてとても嬉しいです。

総踊りに久々に参加します。子どもと一緒に嬉しいです。辰野町がすごく盛り上がるほたる祭りが大好きです。みんなで踊ると、参加者全員、まとまる感じがしていいですね。今日は親子でめいっぱい楽しめます。



正木 美幸さん



赤沼 由加利さん

お祭り期間が長く、人が多く集まるのに驚きました。ピッカリ踊りに初参加。区で普段話せなかった人と話せたり、子どもを知ってもらえたりしたのが嬉しい。想像以上に楽しめました。来年も参加したいです。

次回定例会のご案内 9月定例会予定

開 会 9/2(月)
一 般 質 問 9/9(月)・10(火)
委員会審査 9/11(水)～13(金)
閉 会 9/20(金)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

◆一般質問の時間が9時30分からに変更になります。

編集後記

毎号、一般質問の主な内容や委員会審査、審議された議案、請願・陳情などを紹介していますが、わかりやすく伝わっていますか。町民の皆さんに議会活動を身近に感じていただけるように、見やすい紙面レイアウト、工夫を凝らした特集記事など、親しまれる「議会だより」をめざしています。今後ともよろしくお願いします。

議会広報編集委員 栗林 俊彦

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。